



HMCN 医療介護ひかりグループ

Shining Worker 2018



Shining



Worker



私たち「ひかりグループ」は、1970年に愛知県の当時無医村であった地域に診療所を開所したことから始まりました。

北海道・福島県・神奈川県・長野県・愛知県・沖縄県に拠点病院を有し、有料老人ホーム、グループホーム、介護老人保健施設、訪問看護ステーションなどの施設連携で医療介護のトータルサポートに取り組んでいます。



『医療に和を』『長寿から福寿へ』

医療はチームワークなどの調和（=和）を重視し、介護は個々の人生全般的な質を重視（=福寿）し、私たちは医療と介護を高次元で提供し続けます。

ひかりグループのホームページにて、グループの様々な活動を随時報告しております。ぜひご覧ください。

HMCG 医療介護ひかりグループホームページ <http://hmcg.jp/>



シャイニングワーカープロジェクトについて

医療介護ひかりグループでは、毎年広報部が中心となって、グループ内各事業所で、キラキラ輝く職員さんを選出するシャイニングワーカープロジェクトを実施しています。

この取り組みは、当グループの広報部会の中で『まずは自分たちの働く事業所を知ろう。』というところから始まりました。

自分たちの働く事業所の、頑張っている輝く職員さんのキラキラを探して『ありがとう』を伝えよう。キラキラを広げよう！

シャイニングワーカーの冊子発行は、今年で第3回目となります。

新しく仲間になる（なった）職員さんも、未来のシャイニングワーカーさんです。

私たちの仲間のキラキラ素敵なお顔を共有しよう！





シャイニングワーカー 2018 目次

P3・4	朝里地区 (北海道小樽市)	打越 美紀 (朝里中央病院 看護師) 大場 雄貴 (グループホーム朝里 介護士) 岸 勝敏 (あっとほーむ新光 サービス提供責任者) 工藤 奈子 (あっとほーむ朝里 サービス提供責任者) 平田 仁美 (あっとほーむ朝里中央 サービス提供責任者)
P5・6	福島地区 (福島県福島市)	近内 光代 (福島寿光会病院 看護師 看護科長) 原 七重 (福島寿光会病院 看護師 看護師長) 佐藤 栄美 (福島寿光会病院 介護士 介護科長) 木村 あい子 (福島寿光会病院 庶務)
P7・8	磯子地区 (神奈川県 横浜市磯子区)	丘 恵康 (磯子中央病院 副院長 麻酔科 医師) 古澤 友美 (関東病院 前看護部長) 浦井 義春 (ハートケアつくし ケアマネージャー 所長) 星河 美由紀 (磯子老健 介護福祉士)
P9・10 P11・12	鎌倉地区 (神奈川県鎌倉市) いずみ地区 (神奈川県 横浜市泉区)	柳澤 未沙 (鎌倉ヒロ病院 理学療法士) 笠原 美和 (ハートケアいずみ訪問看護事業所 看護師) 柳川 奈津希 (アットホームやすらぎ 介護士) 伊藤 凌 (いずみ老健 介護士) 田中 尚文 (ハートケアいずみ訪問介護事業所 管理者) 金城 薫 (グループホームやすらぎ 介護福祉士) 宇賀神 崇 (ハートケアいずみ居宅介護支援センター 管理者) 磯田 沙織 (横浜いずみ台病院 言語聴覚士)
P13・14 P15・16	愛知地区 (愛知県)	神谷 めぐみ (寿光会中央病院 看護師) 橋本 美希 (三好老健 介護福祉士) 中根 純子 (豊田老健 介護福祉士) 三輪 めぐみ (あっとほーむ三好 相談員) 池永 サチ子 (あっとほーむ東郷 看護師) 杉山 朱美 (ハートケア藤岡デ・イ・ビ・センター 看護師) 安藤 幸子 (グループホーム藤岡 介護士)
P17	長野地区 (長野県)	武井 梨絵 (上山田病院 看護師)
P18	与勝地区 (沖縄県)	榮野川 太志 (与勝病院 介護福祉士)



打越 美紀（朝里中央病院 看護師）



入職16年目になります。

今の職場のやりがいは「人間力を試されているところ」です。

私の働く事業所のいい所は、復職率が高いところです。働きやすい職場なのだと思います。

これからの目標は「フルマラソン完走」です！

“行動は雄弁である” “普通のことを普通にする” “敵は己”
を胸に、日々仕事をしています。

行動もメンタルもブレなくルーティーンを大切に、そして確実に
行えるようにと思っています。

大場 雄貴（グループホーム朝里 介護士）



グループホーム朝里に勤務して3年目になります。

最初はやりたくて今の仕事を始めたわけではなく、なんとなくという中途半端な気持ちからでした。

たくさん大変なこともあります。入居者の笑顔や「ありがとう」の一言で自分も元気になれる、とてもやりがいのある仕事だと思えるようになりました。

今はフロアのリーダーとして勤務していますが、いずれは介護福祉士やケアマネジャーなどの資格を取り、知識や技術を磨いて入居者様により良いケアを提供していければいいと思います。

岸 勝敏（あっとほーむ新光 サービス提供責任者）



今年で入社2年目になります。

今の職業で一番のやりがいは入居者の笑顔が見れる時です。あいさつをするだけで笑顔が見られたり、食事中に少しですが楽しい話をして笑ってくれる時など、自分が楽しく仕事が出来ます。

私が一番大事にしている事は、廊下ですれ違う時にきちんと止まってあいさつをする事です。これは昔働いていた職場の上司に何度も注意され、身に付いたものです。今となってはとても感謝しています。

私は介護の仕事をはじめてまだ4年目ですが、まだまだわからないことが多く、職場のみんなに助けをもらう事がたくさんあります。特にヘルパーとして働いている方々には色々教えて頂くこともあり大変助けられています。これからはたくさんの人たちから教えていただいたことを、これから入社してくる職員みなさんに伝えていきます。

工藤 奈子（あっとほーむ朝里 サービス提供責任者）



入職2年目です。ヘルパーの声掛け・促しで利用者様が出来なかったことが出来るようになり笑顔を見せてお礼を言われた時に、ヘルパーの仕事をしていて良かったと感じます。サービス提供責任者として各訪問介護員のタイムスケジュールを空き時間なく作成できた時にはやりがいを感じています。

【事業所の良いと所は？】

アットホームな雰囲気出来ない部分を職員間で補い助け合って仕事をしている所がいいところです。また、悩み事などがあつた時に、管理者が快く相談を聞いてくれて、毎回の確にアドバイスを送ってくれます。

【これからの目標や夢を教えてください】

利用者様と馴染みの関係を作れるように、訴えがあつたときには言葉を遮らずにどんなに忙しくても出来る限り「傾聴する」という気持ちを忘れないようにしたいです。夢は…10年後に自分のヘルパーステーションを立ち上げたいです！

【ひかりグループをどんなグループにしたいと考えていますか？】

「ひかり」という名前のように働いている職員が常に光り輝くことが出来るような職場環境にできたらいいと思います。

平田 仁美（あっとほーむ朝里中央 サービス提供責任者）



入職5年目です。入居者様のサービスに入った時に「ありがとう」「あんたが居てくれたら安心するわ」など、感謝の言葉を言われた時や、各訪問介護員の能力を最大限に生かせるようなサービスが出来るようシフト作成をした結果、空き時間なく業務が遂行できた時にやりがいを感じます。

【事業所の良い所は？？】

お互いの考えを言い合うことで、いい所も悪い所も指摘しあえる関係を築けているところです。また、何か問題があればその都度各職種間で話し合い、後回しにはせず早期解決をするように務めているところです。各サービス提供責任者同士が協力的で個々がお互いのために出来ることは何かを考えて行動できています！

【これからの目標や夢を教えてください】

ケアマネジャーの資格試験に合格すること。今後もサービス提供責任者として業務するうえで、ケアマネジャーの勉強で得た知識を活かすことが出来ると考えています。

訪問介護管理者の負担を軽減できるよう、サービス提供責任者全員で業務を分担することや、一人一人の訪問介護員がより良いサービスが提供出来るためにはどのように工夫すればいいか考え、個々が責任感を持って働けるようにしていきたいと考えています。スローガンに基づき、訪問介護職員全員が同じ方向を向いて働いていけたらと思います。

【ひかりグループをどんなグループにしたいと考えていますか？】

今は介護と医療での現場で連絡事項などがあつた時伝わらないことが多く、各職種で独立している印象が強いです。そのため、介護・医療の現場での横の繋がりを強固にしてスムーズに情報が伝達することで効率かつより良い業務を遂行出来るような環境にしていきたいと考えています。

医療と介護が連携し、より良い高齢社会を作っていくように、職員一人一人が責任を持って仕事をし、常に創造力を働かせて業務を行える人材の集まりになればいいと思います。



近内 光代（福島寿光会病院 看護科長）



今年の10月で入職7年になります。当院で最期を迎える患者様とご家族の方々に、この病院に来てよかったと少しでも思ってもらえるような関わりを持つことが、使命でもありやりがいでもあると考えています。

同じ8時間なら笑顔で患者様とご家族の方と関わっていくことが大切だと思っています。

福島寿光会病院は60床と小さい病院なので看護師同士のチームワークが良く医師をはじめコメディカル全てのスタッフとのコミュニケーションも円滑に取れる風通しの良い病院です。

今10歳の娘の夢が『看護師になること』なので、いつか親子一緒に働くことが出来るように現役で働き続けることが目標であり夢です。

全スタッフが家族や友人たちに自信を持って紹介でき、利用したいと思うことが出来れば、ひかりグループがどの地域でも在ってよかった、入院してよかった、利用してよかったと言われ続けるグループになるのではないかと考え、そのようなグループになればいいなと思います。



原 七重（福島寿光会病院 看護師長）



東日本大震災の年に入職させて頂き、正看護師免許取得のため一時現場を離れていました。

福島寿光会病院は、まさに“あっとほーむ”で患者様やその家族のことを考える優しい職員が沢山いる明るい職場です。慢性期で高齢者や介護依存度が高い患者様が多い病棟では、時に多忙なこともあり、日々学びや反省を繰り返します。その中でも患者様の日々の変化にやりがいを感じています。

私の最終的な目標に繋がっていきますが、一時現場を離れてみてより一層感じたこと。福島寿光会病院のような病院は、高齢社会を迎える中で必要不可欠な病院・施設であるということ。その中で自分の家族に受けさせたい医療・介護・心ある看護を提供出来たらと思っています。

高齢化が加速する現代の社会、在宅でのお看取りのニーズも増えているなか、最終的には、在宅看護を行っていきたいと考えています。自信をもって看護を提供出来るよう、十分な経験を積み、正しい判断で問題解決できるよう知識や技術を養い努力していきたいです。



佐藤 栄美（福島寿光会病院 介護科長）



入職9年目になりました。託児所を利用しながら最初はパートとして入職し、4月より介護科長として悪戦苦闘の毎日です。

グループで一番小さな病院だからこそ“あっとほーむ”な職場が魅力のひとつです。私自身、育児と仕事の両立には自信がありませんでしたが、福島寿光会病院の職員の皆様と息子のお陰で、楽しく仕事が続けられています。

息子にとっては、福島寿光会病院が第2の実家ようです(笑)

私自身、介護職は目には見えない商品(サービス)を提供する最幸のサービス業だと考えています。

その方にとっての最善のケアを提供できるように日々自己研鑽に励んでいきたいと思っています。



木村 あい子（福島寿光会病院 庶務）



福島寿光会病院、庶務の木村あい子です。
今年4月で入職して1年5か月になります。

業務内容は救急車の運転、透析患者様の送迎、関連施設(あっとほむ)利用料の請求業務をしています。

職場の良い所は、院長先生をはじめ病院・あっとほむ施設の職員さん達の、優しさや笑顔、あっとほむな職場の雰囲気です。

これからの目標として、現状よりより一層『柔軟性』を持って行動します。

病院は多様なスペシャリストが働く現場なので、今までの自分のルールややり方に固執するのではなく、相手の意見や立場を尊重し、コミュニケーションの充実をはかりながら『お互い様の精神』を大切に仕事に向き合っていきたいです。





丘 恵康（磯子中央病院 副院長 麻酔科医師）



外来を担当せず病床も持たない立場のためか、私は入職13年目の今でも患者さんの間では知名度が低いままです。手術で接した人たちにも覚えてもらえず、執刀医の先生方に比べるとかなり影が薄い存在と言えるでしょう。正直がっかりな気もする一方で、私はそれをむしろ職業上のやり甲斐とも感じています。

麻酔の一番の目的は、手術中に患者さんの苦痛を取り除くことにあります。しかし術中だけ痛みが無くても、患者さんがその前に強い不安を抱いたり、後から辛い思いをしたりするようでは不十分です。麻酔科医が裏方として工夫すれば心身共に安楽な時間がもっと増えて、入院生活のなかでも手術は小さな出来事の一つとなるでしょう。そして無事に退院した患者さんに『手術は大したことなかった。麻酔科医って誰？』と思ってもらえるなら、それが最も理想的な状況だと私は考えています。

さて、当院は急性期医療を担っており、手術治療はその重要な柱となっています。時間と空間と人的資源が限られているにもかかわらず手術件数が年々増えているのは、看護部下の手術部が優秀であるからこそ。麻酔科の業務が日々安全かつ円滑に行えるのも、手術部とうまく稼働できているおかげです。

ただし、看護部も麻酔科も慢性的に人で不足であるため、病院全体の診療能力がすべてには発揮されずにいます。この不足が早いうちに解消され、病院の機能がさらに向上することが私の当面の願いです。



古澤 友美（関東病院 前看護部長）



旧関東病院から新築移転した関東病院までの9年間もの長い時間が経過いたしました。

新築移転をしてゼロからのスタートである立ち上げに、みんなと一緒に関わったことが大きなやりがいでした。

関東病院は、多職種のスタッフが優しさと思いやりを持って目標に向かって一丸となることが出来る所だと思います。

さて、この4月、私は磯子中央病院へと異動となりました。慢性期病院でのマネジメントから今後は急性期へと変わりますが、組織としての強化を目指して頑張ってまいります。

ひかりグループは、北海道から沖縄まで約3,000人もスタッフを抱える大きなグループですが、2025年の医療・介護問題に対して人材育成による組織力の強化や多職種スタッフの連携力・質の向上に取り組むことで対象となる方々へ寄与できるグループにしていってみたいと思います。

【夢・目標は？】

定年後の夢としては、故郷の沖縄(伊是名島)に帰省して悠久の時の流れを感じながら、ゆっくりと暮らしたいです。

浦井 義春（ハートケアつくし ケアマネージャー 所長）



ひかりグループに入職しまして紆余曲折ありましたが、13年となります。

色々な個性を持った職員の皆さんと一丸となって仕事ができるようにしていくことにやりがいを感じます。4月から夜勤の2人体制をとることができ、働く介護者の負担軽減を考えて実行しております。

風通しがよく、多職種みんなで意見を言い合えるところが、私の働く事業所の良いところだと思っています。

これからの目標は、住宅型有料老人ホームを基盤として地域へ充実したサービス提供を担っていくことです。

各地区において、介護や医療を問わず、ひかりグループの一員として地域でリーダーシップをとれるようになっていけたらと考えて頑張っております。

星河 美由紀（磯子老健 介護福祉士）



入社8年目に入りました。介護未経験で入職した私は、失語症の方の伝えたい事が解らなったり、認知症の方への対応に戸惑う事も沢山ありました。

数年経ち、はじめは関わるのが怖かった失語症の男性利用者が退所した時、涙を流してくれました。その方を笑顔で送り出す事ができたその日は今でもいい思い出です。

仕事をする上で大切にしていることは、利用者様の気持ちに寄り添うことです。痛みや上手く伝えられない事、不安に思う事などをどんな言葉で、どんなやり方で対応すれば安心してもらえるか。考えた結果が利用者様に受け入れられ「あなたなら安心」という言葉をもえることがなにより嬉しいです。

入浴介助職員として働いている私は、外出の機会があまりない利用者様の為にお風呂場でレクリエーションを行っています。春は桜、菖蒲湯に鯉のぼり、秋は紅葉、冬は雪見風呂、というように季節に合わせて浴室を飾りました。そんなアイデアを「すごい！」と言って任せて頂ける環境で働けることをとてもありがたく思っています。ここには私を理解してくれる仲間、相談できる同僚、尊敬する上司がいます。そんな方達の助けになれるように頑張っていきたいです。

【夢・目標は？】

私はシングルマザーです。今まで沢山の人の支えてもらって来ました。私も少しでも誰かの支えになれるように生きていきたいです。



私の周りにいる大切な人達といっぱい笑いながら♪





柳澤 未沙（鎌倉ヒロ病院 理学療法士）



知人の紹介で平成29年4月に入職し、この春から2年目になります。鎌倉ヒロ病院での業務以外に、他の事業所への応援やリハビリテーション部会への参加など初めて経験することも多く、充実した日々を過ごしています。

病気やケガによって思うように動けず、ショックな状態からリハビリに気持ちが向けられない患者さんもあります。患者さんの気持ちや心の動きを察し、寄り添うことで表情に笑顔が戻ってきたり、その人らしさを引き出すことができたときにやりがいを感じます。

【これからの目標や夢は??】

色々な方々の意見を聞き、自分の思い描く理学療法士像を固めていきたいです。今は患者さんの笑顔や持っている能力を最大限に引き出せるように、新しいことには進んで挑戦し、様々な経験を積んでスキルアップをしていきたいです。これからも、笑顔をトレードマークに頑張ります！



笠原 美和（ハートケアいずみ訪問看護事業所 看護師）



【今の職業のやりがいについて】

訪問先で、ご本人やご家族から『ありがとう』と感謝の言葉が頂ける事。辛い表情が、パッと明るくなる時にやりがいを感じます。

【事業所の良い所は??】

スタッフ間が助け合い、協力できる所。休みをとる時に、勤務調整が柔軟にできる所。

【これからの目標や夢は??】

個のスキルを磨き、利用者様が安心して生活できる環境を整えていきたいです。

柳川 奈津希（アットホームやすらぎ 介護士）



【今の職業のやりがいについて】

利用者様から『ありがとう』と言われたり、笑顔を見られるところです。

【事業所良い所は??】

利用者様と職員の間で、コミュニケーションが良くとれているところです。

【これからの目標や夢は??】

ご利用者の皆さんが、心落ち着くようなホームにしていきたいです。



この4月に入職2年目を迎えました。

今の職業にやりがいを感じる場所は、ご利用者様からの『ありがとう』を聞けることや、ご利用者様との関わりの中で、信頼関係が出来ることです。

いずみ老健は、施設全体の雰囲気が良く、明るく優しい先輩方がたくさんいます。また、他職種の知識や技術等も気軽に指導して下さいます。

ひかりグループの各事業所が地域の皆様に信頼されるように、グループ内でも協力して頑張っていけたらと思います。

また、ご利用者様のADLの向上だけでなく、QOLにも着目できるようにしていきたいです。

【これからの目標は夢は？】

認知症ケアの知識・技術の向上を目指し、認知症上の改善を目標にしています。将来はNHKのプロフェッショナルに出たいです！！



今回、事業所内投票で選ばれた時には、『まさか私が！！』と驚きましたが、大変光栄に思っております。名に恥じぬよう、初心を忘れず、精進してまいりたいと思います。

不器用な性格で困難も多々ありました。たくさんの事を学び、成長～実践し、よりよいケアに繋がった時にやりがいを感じます。

あっとほーむ岡津は、いずみ地区の各事業所と連携を密にとり、利用者・ご家族様に安心・安全な『日常生活』を提供させていただき意識を職員全員で共有し、日々取り組んでいます。

【これからの目標や夢は？】

利用者様・職員とのコミュニケーションを大切にし、『信頼』『思いやり』『尊重』を築き、『ここで暮らせて良かった！』と、多くの方に感じてもらえるよう努力します。





金城 薫（グループホームやすらぎ 介護福祉士）



グループホームやすらぎに入職して9年目です。
今回事業所内投票で選んでいただき、驚きました。
自分なんかがおこがましいです...こっ恥ずかしい!!!というのが
率直な感想でした。

グループホームには、いろいろな利用者様がおられるので、その方に合
わせたケアを考え、そして喜んでいただけるのがやりがいになります。

私の働く職場は、良い意味で、かたくりしい上下関係が無く、フレンドリーな環境で働ける職場だと思っています。

【これからの目標や夢は？】

勉強会や研修にガンガン参加して学んでいきたいです。
日々刷新されているケアの方法を取り入れていきたいと
思っています。



宇賀神 崇（ハートケアいずみ居宅介護支援センター 管理者）



【今の職業のやりがいについて】

個々のご利用者の生活はそれぞれ個性があり、同じ生き方はないと思います。
ケアマネージャーとして関わらせていただくことは、たくさんの人生を見せていただく
ということ。そこには笑いあり涙ありの様々なドラマがあります。それを演出させてい
ただくことにやりがいを感じます。

【事業所の良い所は??】

事業所は6人と少ないですが、和気あいあいとしています。
わからないことがあっても、相談しやすい環境で、人間関係
はとても良いと思っています。
大変なことも多々ありますが、皆、ご利用者の為にと懸命に
支援にあたる姿を見ると感動します。

【これからの目標や夢は??】

地域を支える居宅介護支援事業所として、いちケアマネー
ジャーとして、いち職業人として、この地域でもっとさらに認
めてもらえるようにしていきたいと思っています。



（宇賀神さんは、写真の左から2人目です）

『私たちは大きいことは出来ません。小さなことを大きな愛をもって行うだけです。』これが当事業所のテーマです。



いずみ台病院に入職して、まだ1年と短いので、今回投票で選んでいただけたことに、とてもびっくりしました。日々、摂食嚥下チームのメンバーやリハビリを中心にたくさんの方に助けていただいています。

【今の職業のやりがいについて】

患者さんが食事を食べられるようになった時に一番のやりがいを感じます。療養型病院でも嚥下チームで介入すると良くなる方がたくさんいらっしゃいます。

全く食べていなかったり、経管栄養や中心静脈栄養が必要だった患者さんが、口からの食事だけで必要な栄養がとれるようになり、施設や自宅などに退院できると、本当に良かったなあと思います。

【摂食嚥下チームについて】

歯科医師、病棟看護師、介護士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士のチームで活動しています。

月に1回集まり、嚥下評価をした患者さんの振り返りや勉強会、摂食嚥下に関する業務の改善点などの話し合いをしています。

最近では、摂食機能療法の計画書を見直したり、病棟で食事介助方法や姿勢を統一できるような『食事カード』をチームで話し合い作成しました。

メンバーが気になった事や意見を気軽に話し合える雰囲気のチームです。



【これからの目標や夢は？】

患者さんが、楽しく・おいしく食べられるように、広い視野をもって患者さんをみたり、知識を増やしていきたいです。また、現在は摂食嚥下を中心に取り組んでいますが、今後は必要性に合わせて、言語・高次脳機能のリハビリも行っていきたいです。



神谷 めぐみ（寿光会中央病院 看護師）



今年の4月で入職9年目になります。

小学校の頃から母と同じ看護師になりたいと思っていました。周りのスタッフに支えてもらったり、協力し合ったりしながら働けていることに感謝しています。

患者さんご家族さんが安心して入院生活を送れることや職場のスタッフが楽しく働きやすいような環境作りをすることなど、周囲の方々が何か迷ったり困ったり相談したい時に、いつでも寄り添えるように、これからも頑張って働いていきたいと思っています。

橋本 美希（三好老人保健施設 介護福祉士）



入職9年目になります。

【今の職業のやりがいについて】

職業を聞かれ、介護士をしていますと答えると『大変な仕事だね。』『えらいね。』と良く言われますが、そんな時、私は『介護士という仕事はとても楽しいです。』と伝えます。

人生の先輩方と接し、学べることがたくさんあったり、「ありがとう」と感謝されることがやりがいに繋がります。

また専門職として学ぶことがたくさんあります。これからも、日々学ぶことを忘れずに勉強し、介護士としてのプライドをもって仕事をしていきたいと思っています。

【事業所の良い所は??】

職員同士仲が良く笑顔あふれる事業所です。何でも相談できる雰囲気があります。

【これからの目標や夢は??】

この仕事を続けていくために、健康な体でいることとストレスを貯めないことです。毎日楽しく仕事することが今の私の目標です。



入職5年目になります。特養からの転職でした。

介護の仕事を始めたきっかけは、寿退職後、専業主婦10年、世間から取り残されたような感覚の中でいたとき、すでに介護を始めていた友達からの何気ない一言でした。

『介護に向いてると思うよ。』それまで、介護の「か」の字も考えたこともありませんでしたが、思い切って未経験で飛び込んだのが最初のきっかけでした。

【今の職業のやりがいについて】

自己成長できる場所★利用者さまは人生の先輩です。たくさんの方と出会い、接する事で自分の弱いところに気付かされています。自分を人として高めることが出来るのが一番のやりがいだと思います。

【事業所の良い所は？】

同じ考えの仲間が沢山居ることです。昔はいろいろありましたが、今はみんなで盛り立てて行こうという活気があると思います。未経験者、経験者色んな職員の入職がありますが、だれでも温かく迎えることができる環境です。時には厳しいことも言い合えることが信頼関係を強くしているのではないのでしょうか？

【家庭との両立の秘訣は？】

仕事の事を持ち込まない！自分の時間をつくる！帰宅後も座らない、動き続ける(笑)一番は、大好きなカーブを応援する事！ ナイターに向けて一日フルに頑張れる(笑)

【これからの目標や夢は??】

『ずっと介護士』もっと知識を深めて、人間的にも成長したい！ 介護にはそれが出来ると思います。

【ひかりグループをどんなグループにしていきたい？】

こんなに大きなグループなので、もっともっと交換交流をして「井の中の蛙」ではなく、みんなが成長していければ素晴らしいと思います。



【今、退職を思い悩んでいる職員に伝えたいこと】

自分に向いているのか考えることは誰でもある、向き不向きも当然ある。でも一番の理由は人間関係が大半ではないでしょうか。介護は特殊な仕事ですが一瞬でも楽しいと思える瞬間があれば、ぜひ続けてもらいたいです。



三輪 めぐみ（あっとほーむ三好 相談員）



入職5年目です。

相談員になってから、利用者や家族、医療・福祉サービス関係者など数えきれない程の方々と出会い、幅広い内容の相談をして頂けることが、自分の人生の糧となっています。この職に就いていなかったら、私個人がこんなに人と出会えることが無いと思うので、毎日楽しいですし、やりがいを感じます。

私が所属しているあっとほーむ三好では、訪問看護・訪問介護・有料の職員さん達が、職種の垣根を感じさせないほど一致団結しているところが良いです。

職員の交流イベントとして、女だらけの水泳大会、ボーリング大会、ドッジボール大会など年間行事があり、楽しく仕事をするための基礎体力づくりを兼ねて積極的に行っています。もちろん大会前には全力で練習も行います。仕事でもみんなで声掛けをしながらフォローに入る体制ができていて、困難なことがあってもすぐに「～してみよう！」と言える、前向きで優しい職員さんばかりです。笑いが絶えない最高の事業所です。

【これからの目標や夢は？】

短期目標：6月に出産を控えているので、7月にはTeam寿寿寿(寿光会踊りグループ)に復帰し、12月には職場復帰して、忘年会で踊りたいです。
長期目標：資格取得！！育休中に猛勉強します。



池永 サチ子（あっとほーむ東郷 看護師）



縁を頂いたここ東郷町に新居を設けてから、35年が経ちました。

子供が小学校の頃、隣の町に三好中央病院が在り、外来・病棟看護師として在籍は短い期間でしたがお世話になりました。

時を経て、自宅から歩いて10分程のところに『あっとほーむ東郷』が開設されました。そのとき私は60歳を過ぎていた頃で「もう少し頑張っておきたい。」「自分の最後の職場にしたい。」という思いで、施設の玄関を開きました。

お陰様で施設長と皆様方のサポートを頂きながら今年で7年が経過しようとしている事に感謝致しております。

病院と施設との勤務に大きな差はありませんが『看護と介護』に対する働き方は何等変わるものではない事の大切さを痛感致しています。

此の先も経験と実績を生かして入居者様の体調管理と健康維持に勤め、思いやる気持ちと同様に笑顔をもって接していきたいと思っています。

今後も宜しくお願い致します。

杉山 朱美（ハートケア藤岡デイサービスセンター 看護師）



入職4年目です。

看護師として先輩と共に利用者様の健康管理を行い、利用して下さる皆さんの笑顔を見れる時が一番のやりがいです。

【事業所の良い所はどんなところ？】

利用者様の笑顔に毎日接する事ができ、看護職と介護職が連携を取りながら助け合い利用者様のケアが出来る所です。

【これからの目標や夢は？】

自分の家族や自分自身がこのデイサービスを利用したいと思える場所にする事です。

【家事との両立で大変な事ありませんか？家族の応援はありますか？】

日々時間に追われていますが、家族や職場の仲間にサポートを受けたり自分の中で優先順位を考えながら両立できていると思います。

【“モットー”を教えてください】

とりあえず、何でもやってみること。やってみて出来なかったら周りを頼ります。

【多職種連携で成り立つ仕事ですが、気を付けていることはありますか？】

伝達と言う事を第一に考え、情報を共有し個々に合った看護・介護を提供出来るように心掛けています。

【この仕事のいいところ教えてください】

「楽しい」の一言です。仕事も藤岡のデイサービスも本当に楽しいのでこの職場に來で仲間や利用者様と一緒に過ごせて本当に良かったと思っています。心から感謝しています。



安藤 幸子（グループホーム藤岡 介護士）



入職4年目。上豊田で1年3ヶ月、藤岡で1年8ヶ月が経ちました。

【安藤さんにとってグループホームとは何ですか？】

皆様にとって第2の生活の場だと思います。私にとって入居者様は家族みたいな感じです。今に至るまでに色々な事があったと思いますし、今までの人生を尊敬しこれからもサポートしていきたいと思っています。

【グループホーム藤岡の良い所はどんなところですか？】

職員の年齢層は他の事業所に比べて高いかもしれませんが、よそに負けないくらい元気だと思いますし、以前は別の会社のグループホームで働いていましたが、そこと比べてもこの職員達はチームワークもよく色々な面でカバーし合えるので素晴らしいと思っています。

【安藤さんにとって介護とは何ですか？】

私にとっての生きがいです。

これからも身体が続く限り働いていきたいです。

【個人的な目標とグループホームとしての目標を教えてください】

個人的な目標は…これは介護を始めた時から心掛けていますが、「どんな時も笑顔を忘れない。嫌な事があっても入居者様の前には元気に過ごす。」をこれからも続けていきます。

グループホームとしては…大きな事は言えませんが自分達が絶えず元気に働いて入居者様を元気にしていきたいです。最後に「良い人生だったなあ」と思ってもらえる場所にしていきたいです。それと同時に「藤岡日本一」と言う大きな目標に向かって皆で頑張っていきたいです。



【最後に後輩の介護士やこれから介護職を目指す人達に何かアドバイスをお願いします】

自分の中にある信念(目標)をしっかりと持って頑張っていってもらいたいです。



武井 梨絵（上山田病院 看護師）



【どんな時に仕事のやりがいを感じますか？】

私の勤務する療養病棟では、寝たきりや病状の見通しがつかない患者さまが多く、長期にわたり入院生活を余儀なくされるケースがほとんどです。

そのため、幅広くトータルに看護することが必要で、病態に関することだけではなく、患者のご家族さまとの人間関係を構築し、一人ひとりに合った看護の提供が重要です。

高齢者の最期の時間を悔いないよう、援助することは看護師として大切な仕事だと感じています。

【あなたが働く事業所はどんなところですか？】

当事業所は10年目に入ります。

その間、様々な職種の職員が常に連携し合って、患者さまとご家族さまを支え、地域に根付いた病院・施設として大きくなりました。

私が所属する上山田病院は、近年、急性期病院より受け入れ入院も多くなり、医療介護が必要な高齢者の方々の地域密着型病院として切れ目のない医療を提供することで、より一層の地域貢献を目指しています。

【これからの夢を聞かせてください】

多様な価値観をもつ患者さまの入院生活を支えていくには、看護の知識や技術だけではなくと思っています。

その人らしく生きていくことを支援するには、生命を大切に思う気持ちや自分自身の人間力を高め、人としての幅を広げていき、人の痛みや苦しみ、そして幸せを考えることができるような看護師を目指しています。

看護師は看護の面だけでなく、どんな状況でも最後まで「生きること」「生き抜くこと」を支えていく使命もあると思っています。





榮野川 太志（与勝病院 介護福祉士）



以前は自動車関係の仕事に就いていました。

もっと人の役に立つやりがいのある職場を求めて介護職へ。
約8年老健施設で勤めた後、与勝病院へ入職しました。

【どんな時に仕事のやりがいを感じますか？】

利用者の「ありがとう」の言葉もうれしいですが、それ以上に楽しそうに過ごされている利用者を見かけると、もっと頑張ろうと思います。

【与勝病院の良いところは？】

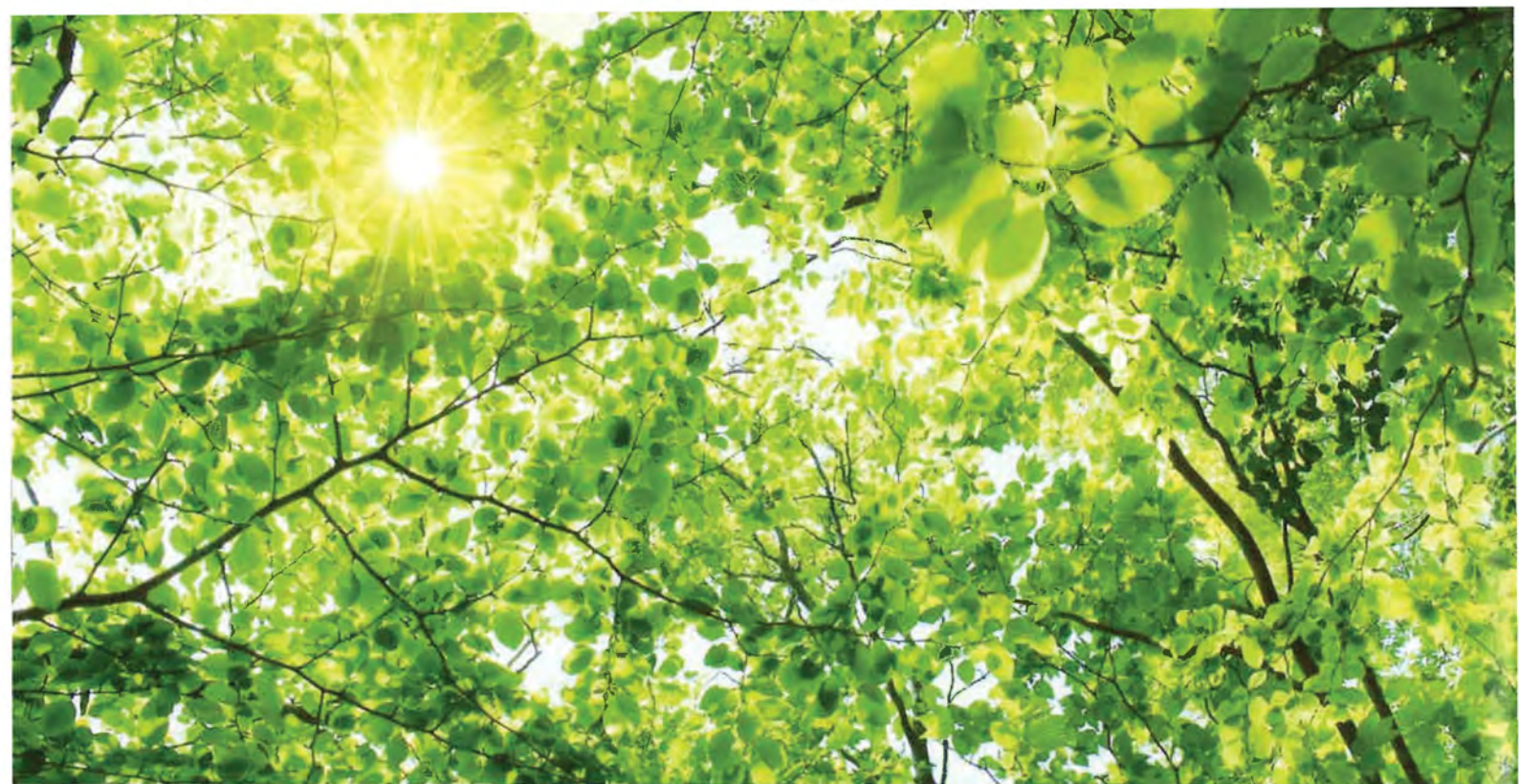
皆さんとても個性的で毎日楽しく仕事をさせてもらっています。
また勉強会が多いのも与勝病院の良いところではないでしょうか。
スキルアップできる場が多く設けられていると感じます。



【今後の目標などを聞かせてください】

利用者が今以上に充実した生活ができるように職員一同、
連携をとって業務に取り組んでいきたいです。





医療介護ひかりグループ

輝く仲間たち 2018

